

11.5 [日曜日]

## 令和5年度わな猟技能講習会を開催しました

年々増えているシカやイノシシなどによる農林産物の被害軽減と猟期前に捕獲圧を上げるため、村役場大会議室で、今年もわな猟技能講習会を開催しました。この講習会は、佐那河内神山地域鳥獣害防止広域対策協議会が主催で、狩猟免許を取得し3年未満の人を対象に、神山町から9人、本村からも4人が参加し、法令やマナー、わなの特徴や設置方法などの捕獲技術を学びました。

講師は上野企画政策課長が行い、1時間ほど座学、その後役場前に集合し、実際にわなを仕掛け、わな猟のコツを伝授しました。

今後も鳥獣捕獲等事業の担い手の人材育成のために、安全にそして確実にわな猟ができるよう講習会を開いていきます。



11.12 [日曜日]

## 社寺建築をテーマに令和5年度第2回学術講演会開催

真建築都市研究室代表取締役で徳島大学非常勤講師・阿波学会理事の中野真弘さんを講師にお招きし、「徳島の社寺建築と佐那河内」の演題でご講演をいただきました。

中野さんは、社寺建築から、その土地が歩んできた歴史を垣間見ることができるとされていて、流造や春日造などの様式は同じであっても使われている材料や部材の構成、寸法・規模、細部の意匠などは異なり、ひとつとして同じものはないこと、また棟札から建立時期や関与した大工など多くの情報を得ることができると話されました。

そして、古代からの神社建築史の大きな流れを説明された後、県内各地の神社本殿の建築的特徴を解説し、最後に村内社寺についてふれられました。村内の神社本殿の様式は流造、折屋根、大和葺き、覆屋の特徴があり、規模は三間社が1社で他は一間社であること、6箇所あるお堂は閉鎖型で比較的古い建築物であることなどを話されました。なお、一間社の小社であっても岡山県瀬戸内市牛窓の本蓮寺番神堂東祠のように国重要文化財に指定されているものがあることも紹介していただきました。



次回は、令和6年1月21日(日)10:00~12:00に、徳島大学理工学部の西山賢一先生に、「佐那河内村の地形・地質に基づく土砂災害危険箇所の分布」と題しご講演いただきます。みなさまのご参加をお待ちしています。

※本講演会は、阿波学会の後援をいただき実施しています。